

2024年度児童発達支援「ことりクラブ」自己評価表

2025年4月

「ことりクラブ」では厚生労働省が定める「児童発達支援ガイドライン」の観点に基づき、「ことりクラブ」が提供する支援のより一層の充実を目指して、スタッフ自ら支援内容を評価・点検をしています。2024年度は下記のように自己評価をいたしましたので、ここに公表いたします。

		チェック項目	はい	いいえ	不十分	工夫点・課題点・今後に向けての取り組み等
環境・体制整備	1	利用定員は教室等スペースとの関係で適切か	○			教室は狭いですが、1クラスの定員を調整しながら臨機応変に対応しています。
	2	職員の配置人数は適切か	○			体育プログラムの安全確保、一人ひとりの課題に手厚く対応するため、講師1人当たりの担当児童数が1～2名になるように配置しています。
	3	教室・施設は本人にわかりやすい構造化された環境になっているか また、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか			○	古い建造物なので、バリアフリー面では制約がありますが、手すりやスロープ、トイレ等設置可能な施設で対応しています。
	4	教室・施設は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか			○	限界はありますが、子ども達のニーズに合わせて可能な限り改修しています。今後も様々な改善を進めていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参加しているか	○			クラス担当者間で毎回振り返りをしています。
	6	保護者向け評価表によって、保護者に対して事業所評価を実施して、業務改善につなげているか	○			毎年2月～3月にアンケートを実施しています。
	7	事業所職員や保護者による評価の結果を踏まえ、自己評価を行うとともに、その結果による課題や改善内容をHPや会報で公表しているか	○			4月に自己評価、保護者評価をHPで公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に生かしているか		○		第三者委員会は設置していません。
	9	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	○			今年度はZOOMも利用し、関西地区YMCA合同研修会や全国YMCA発達支援担当者会への参加をしていることや、法人内でも保護者対応や、障がい理解の研修を行っている。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析して児童発達支援計画を作成しているか	○		体験時の観察、意見書、検査結果等を基に作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況把握のため、標準化されたアセスメントツールを用いているか		○	保護者からの要望や必要に応じて、保護者の同意を得た上で、WISC等の検査を実施し、報告書及び面談で保護者に結果をお伝えしています。
	12	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援・移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から支援に必要な項目を適切に抽出し、それを基に具体的な支援内容が設定されているか	○		多くの場合「発達支援」になりますが、「家族支援」や「地域支援」にも配慮しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14	プログラムの立案をチームで行っているか	○		スイミング等プログラムによっては専門知識のあるスイミングスタッフを中心に一緒に立案しています。
	15	プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		1回ごとのプログラム内容は固定化していませんが、毎時間の大枠の流れは固定化して、子ども達の不安感を軽減しています。継続して成果を図るプログラムは、固定化して実施しています。
	16	子どもの状況に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて計画を作っているか		○	子どものその日の様子を鑑みたり、保護者のご希望に応じて個別対応を設けています。
	17	プログラム開始前には職員間でその日の内容や役割を打ち合わせているか		○	毎日、事前の打ち合わせ、事後の評価反省を行い、記録を取って次のプログラムに生かしています。
	18	プログラム終了後に職員間でその日の振り返りを行い、課題をシェアし、プログラムの改善に役立っているか	○		毎回行っています。
	19	日々の支援に関して記録を取ることを全員で徹底し、定期的に確認し、児童の支援の検証、改善に役立っているか	○		同上
	20	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月毎にモニタリングを実施しています。

各機関・保護者との連携	21	相談支援事業所のサービス担当者会に子どもの状況がわかるふさわしい者が参加しているか	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。
	22	母子保健や子育て支援等の関係者・関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて、連携を進めています。
	23	移行支援として保育所・こども園・幼稚園等との間で支援内容の情報共有や相互理解を計っているか	○		同上
	24	他の児童発達支援事業所や発達支援センター等と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて助言を求めています。
	25	保育所やこども園・幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	ことりクラブと園等ではまだ実施できていませんが、YMCA の夏・冬・春キャンプに参加した方は、その機会に触れています。
	26	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども支援のための会議等に積極的に参加しているか		○	奈良市障がい児通所支援連絡協議会等に今年度は、毎回まではいきませんでしたが、参加しています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達課題を共有しているか	○		毎時間、クラスでの様子をフィードバックしています。
	28	保護者に対しての支援プログラム（ペアトレ・交流会等）を実施しているか		○	数年、実施していません。保護者向けプログラムは課題としています。
保護者への説明責任等	29	運営規則、利用者負担、重要事項について丁寧な説明を行ったか	○		契約時に30～45分間ご説明しています。
	30	個別支援計画について計画書を示しながら説明を行い、保護者の承諾を得たか	○		計画作成後にご説明し、署名をいただいております。
	31	定期的に保護者からの悩み等に対する相談に応じ、必要な助言・支援を行っているか	○		定期的に実施しています。
	32	保護者会等の開催によって保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会を設けていませんので、保護者同士が改めて集う機会がありません。
	33	保護者からの相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応しているか	○		臨機応変な対応に努めています。
	34	定期的に会報等を発行して、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に発信しているか	○		会報「ことりだより」を毎月発行して、指針、活動内容、行事予定等をお知らせしています。

35	個人情報の扱いに十分注意しているか	○			個人情報が記載されている資料は鍵つきキャビネットに保管し、HPの写真は本人が特定されないよう目隠しをして取り扱っています。
36	地域に開かれた事業運営を行っているか			○	今年度は不十分でした。
37	様々な非常事態に対するマニュアルを作成していますか また、職員・保護者にも周知徹底していますか	○			緊急事態への対応マニュアルを作り、職員に周知徹底しています。必要に応じて保護者にもお知らせいたします。
38	非常災害に備え、避難訓練を実施しましたか			○	職員には誘導方法も含めて実施しています。また、避難経路、消火器の場所等は各階廊下に掲示しています。
39	事前に子ども達の発熱や持病等把握していますか	○			毎回、保護者との交換ノートでその日の発熱や体調を書いていただいています。また持病やかかりつけの医療機関は入会時のアセスメントアンケートに記入してもらっています。
40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有していますか	○			他の事業部も含めて YMCA 全体で共有しています。
41	虐待防止のために研修機会を確保していますか	○			奈良県主催の研修会に毎年参加し、情報を共有しています。また、組織内で話し合いを行っております。
42	身体拘束について、組織的に対応を決定し、保護者や子どもに説明し、支援計画に記載していますか			○	身体拘束等の適正化に関する指針を作成し、虐待防止委員会を開設しました。契約時に保護者に内容をお知らせしています。